



なければならぬ、そんな場面が少ないような気がします。

静岡は温暖で豊かな自然に加え、東海道の要所にあつてどの時代も何らかの政治的拠点があり、仕事も文化も苦労しないで手に入る。ある意味ホントに地理的に恵まれている土地だと言えるでしょう。でも、近年そんな静岡の地理的な優位性も交通手段の発達、情報通信技術の進歩などによってじよじよに失われつつあるのかもしれない。

今までの静岡は「そこにある」だけで価値があつた。でもこれからの静岡は「そこで何をしているか」が重要になります。では何をすればいいのでしょうか？…これはもう乱暴ですが「自分が好きなことをやる」しかないような気がします。

何年か前、フランスに自分の漫画を売り込みに行った時、日本的だからと墨絵で描いた漫画を持つていったのですが、向こうが欲しいのはそうじゃなくていわゆるオタクというか

## 今月の一文字

しりあがり寿さんが選ぶ  
静岡の良さを表現する一文字。

いつでも暖かな日差しが降り注いでいるイメージがあります。強すぎず人の心まであたためるような日差しです。



### 作品のご紹介



静岡市葵区PRキャラクター  
「あおいくん」

あおいくんとその家族は、第1期「葵区区民懇話会」の提案により、葵区出身の漫画家しりあがり寿さんにデザインを依頼して誕生した、区のPRキャラクターです。「あおいくん」の名前は区民からの応募700件の中から選ばれました。

アキバ系というかそういうマンガでした。つまり、相手に合せて作られた中途半端な何かよりもホントに自分たちが好きでつきつめたものの方が世界では残っていくのだな、とその時思いました。相手が欲しいものよりホントに自分が欲しいものでないと成熟した消費社会では生き残れないのかもしれない。

静岡というのは豊かな土地で、たいていのモノは手に入る、そんな恵まれた人たちが心から欲しいもの、そんなモノやサービスならそれは世界に通用するのかもしれないよ。

そのためには静岡の人は今までよりちょっとだけ我を張ることが大切になるかもしれない。ヒトに嫌われても空気を読まなくても自分の好きなものをつきつめる。周りもそんな人間をあたたく盛りたててやる。そうすれば何か新しいものが生まれるかもしれない。

争いを恐れて自分をまげるのでなく、今こそ静岡人は苦手な「NO」を言うべき時かもしれない。